

平成 2 9 年度第 1 回おおいた子ども・子育て応援県民会議  
行政説明資料

# おおいた子ども・子育て応援プラン(第3期計画)の体系及び推進体制

めざす姿

一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つことができる社会

基本目標

子育て満足度日本一の実現

基本姿勢

子どもの育ちの支援

子育ての支援

基本施策

1 子どもの成長と子育てをみんなで支える意識づくり

2 地域における子育ての支援

3 子育ても仕事もしやすい環境づくり

4 きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援

5 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の推進

6 子どもの生きる力をはぐくむ教育の推進

7 子どもにとって安全・安心なまちづくり

評価体系

個別事業ごとの評価  
(アウトプット指標 88項目)

総合的な評価  
(アウトカム指標 10項目)

推進体制

県民の声

おおいた子ども・子育て応援県民会議

目的: 子ども・子育てに関する施策の総合的かつ効果的な推進  
会長: 相浦雅子(別府大学短期大学部)  
委員: 県内の各種団体の役員、学識経験者及び一般公募に応じた者等(28名)

庁内  
部局連携

大分県次世代育成支援対策推進会議

目的: 次世代育成支援対策の総合的かつ効果的な実施  
会長: 副知事  
委員: 関係部長、病院局長、教育長、警察本部警務部長

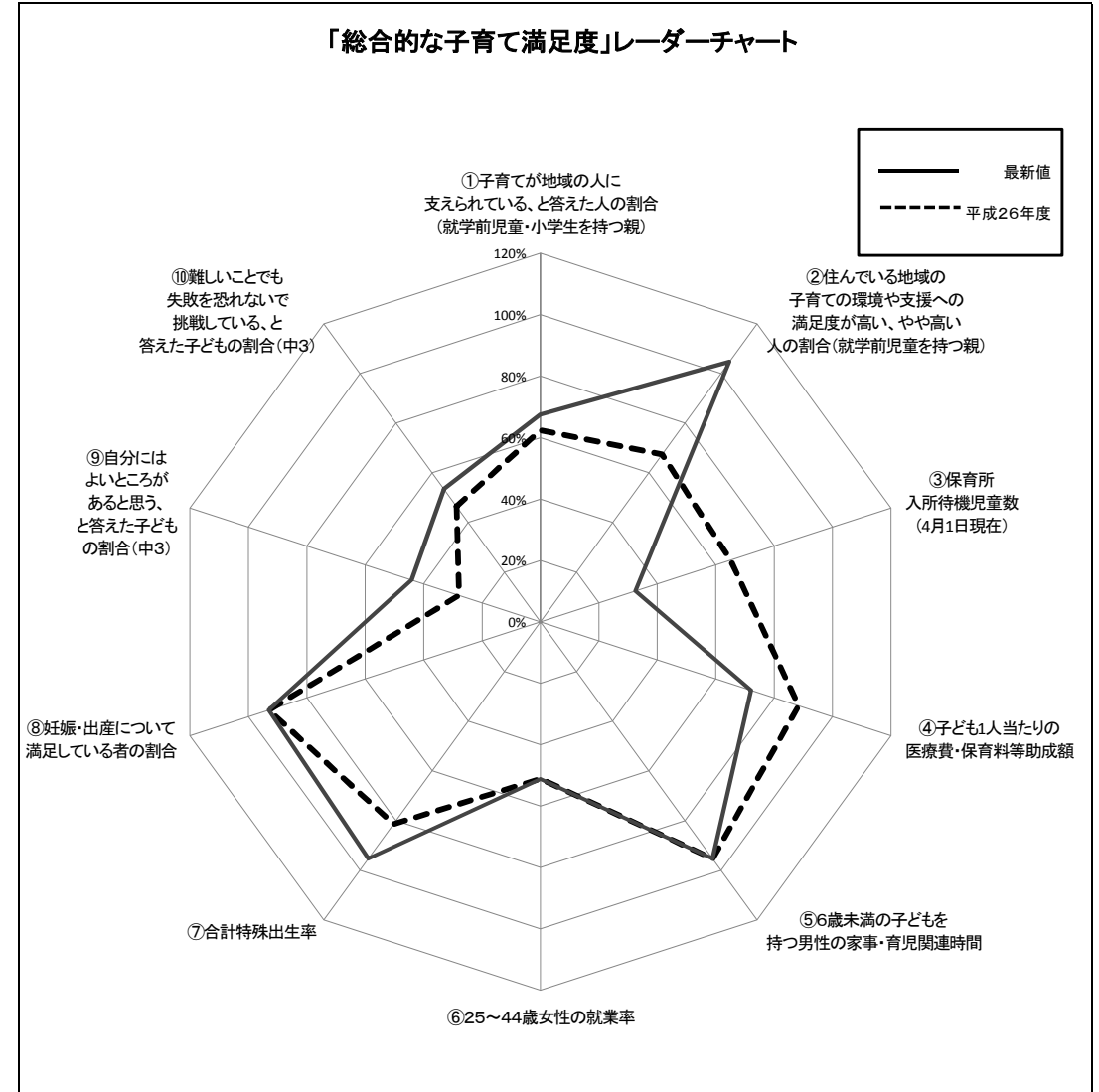
連絡会議

目的: 推進会議の円滑な運営  
構成員: 関係部局庁 総務企画監等

各事業課室による事業の企画・推進

## 「おおいた子ども・子育て応援プラン（第3期計画）」（27年度～31年度）総合的な評価指標

具体像	指標	目標値 (31年度)	基準値 (26年度)	前年値 (27年度)	最新値 (28年度)	進捗 (基準値比較)	出典
(1) 地域に支えられながら、安心して子育てをすることができる	①子育てが地域の人に支えられている、と答えた人の割合（就学前児童・小学生を持つ親）	100.0%	62.4%	66.1%	67.5%	↗	平成28年度子ども・子育て県民意識調査
	②住んでいる地域の子育ての環境や支援への満足度が高い、やや高い人の割合（就学前児童を持つ親）	全国トップレベル(5位) (現況5位 39.2%)	19位 24.5%	6位 38.3%	3位 42.2%	↗	
(2) 必要なときに子育て支援サービスを利用することができる	③保育所入所待機児童数（4月1日現在）	全国トップレベル(5位) (現況5位 0人)	20位 42人	36位 536人	34位 370人	↘	平成28年厚生労働省調べ
	④子ども1人当たりの医療費・保育料等助成額	全国トップレベル(5位) (現況5位 13,646円)	10位 10,081円	17位 9,635円	17位 9,710円	↘	子ども未来課調べ
(3) 親と子どもが十分に向き合うときを持ち、互いに喜びを感じることができる	⑤6歳未満の子どもを持つ男性の家事・育児関連時間	全国トップレベル(5位) (現況5位 93分)	7位 86分	7位 86分	7位 86分	—	平成23年社会生活基本調査
	⑥25～44歳女性の就業率	全国トップレベル(5位) (現況5位 79.1%)	26位 71.7%	26位 71.7%	26位 71.7%	—	平成24年就業構造基本調査
(4) 希望する人が家庭を築き、子どもを持つことができる	⑦合計特殊出生率	全国トップレベル(5位) (現況5位 1.64)	13位 1.56	14位 1.59	7位 1.65	↗	平成28年人口動態統計(概数)
	⑧妊娠・出産について満足している者の割合	全国トップレベル(5位) (現況5位 74.3%)	8位 71.8%	8位 71.8%	8位 71.8%	—	平成25年「健やか親子21」推進状況に関する実態調査
(5) かけがえのない個性ある存在として、自己肯定感を持って育つことができる	⑨自分にはよいところがあると思う、と答えた子どもの割合（中学3年生）	全国トップレベル(5位) (現況5位 72.3%)	36位 65.7%	28位 67.6%	29位 68.2%	↗	平成28年度全国学力・学習状況調査
	⑩難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している、と答えた子どもの割合（中学3年生）	全国トップレベル(5位) (現況5位 73.6%)	28位 67.9%	29位 68.5%	25位 69.5%	↗	
<b>達成率</b>			<b>15位 67.9%</b>	<b>15位 67.8%</b>	<b>11位 70.9%</b>		



# 平成29年度次世代育成支援対策関連事業(当初予算)の概要

## 【基本施策】

## 【28年度県民会議委員からの意見】

## 【29年度関連事業】

### ①子どもの成長と子育てをみんなで支える意識づくり

- 地域の子育て支援の充実には協力者を如何に増やしていくかが課題。
- 子育ては、こども会や自治会など地域との助け合いがとても重要。子育て家庭が孤立しないような取組が必要。
- 企業と子育て家庭がWin-Winの関係でなければならない。ワーク・ライフ・バランスの重要性について、もっと周知してほしい。

- 人権啓発推進事業(生活環境部)
- DVのない社会づくり推進事業(生活環境部)
- 地域の子育てコミュニティづくり推進事業(福祉保健部)
- おおいた子育てほっとクーポン活用事業(福祉保健部)

### ②地域における子育ての支援

- 病気の子どもを看病することが当たり前の社会にしてほしい。
- 放課後児童クラブの質の維持も大変重要である。子どもが安心して過ごせるように、地域の参画にも力をいれてほしい。
- 待機児童ゼロに向けた取組を加速させてほしい。
- 行政等の働きかけで多様な働き方が少しずつ広がってほしい。
- 零細企業は会社の経営と従業員の休暇取得の狭間で難しい舵取りをしている。事業主も働き方については考えながら経営している。

- 働き方改革推進事業(商工労働部)
- 女性の活躍推進事業(生活環境部)
- 病児保育充実支援事業(福祉保健部)
- 保育士確保対策事業(福祉保健部)
- 地域の子育てコミュニティづくり推進事業(福祉保健部)
- 農山漁村における若者の就労支援(農林水産部)

### ③子育ても仕事もしやすい環境づくり

### ④きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援

- 障がいのある子どもをみんなで温かく見守りながら、育ちを支援していく体制作りが必要。
- スクールソーシャルワーカーが情報共有できるネットワーク作りや、スキルアップできる施策が必要。

- 子どもの貧困対策推進体制整備事業(福祉保健部)
- 放課後児童対策充実事業(福祉保健部)
- 小中学校特別支援教育充実事業(教育庁)
- 発達障がいのある子どもの学び支援事業(教育庁)
- いじめ・不登校等未然防止対策事業(教育庁)
- スクールソーシャルワーカー活用不登校等対策事業(教育庁)

### ⑤結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の推進

- 女性の出産には、タイムリミットがあるのは事実。若いうちから自分のライフデザインを描く機会を増やしてほしい。
- 県内各地の団体等の自主的な婚活支援についても注目して、盛り上げてほしい。

- おおいた出会い応援事業(福祉保健部)
- 不妊治療費助成事業(福祉保健部)
- 子ども医療費助成事業(福祉保健部)
- 食の安全・安心推進事業(生活環境部)

### ⑥子どもの生きる力をはぐくむ教育の推進

- 学校や家庭のそれぞれで「教育」を考えるのではなく、社会全体で考えることが必要。
- 子育てを孤立させないように、いろいろなところから手を伸ばして、総合的なネットワークが必要。
- これからの子どもに求められる力は、創り出す力。知識だけでなく、体験して考えることが重要。
- 子どもの命を守るには、地域との関わり方が大変重要。

- 芸術文化スポーツ等を通じた子どもたちの健全育成(企画振興部)
- 「協育」ネットワーク連携促進事業(教育庁)
- アクティブ・ラーニング美術教育推進事業(教育庁)
- 大分県少年の船運航事業(生活環境部)

### ⑦子どもにとって安心・安全なまちづくり

- 子育て・高齢者世帯リフォーム支援事業(土木建築部)
- 子どもを守る環境づくり(警察本部)
- 青少年を守るネット対策事業(生活環境部)

# 平成29年度 保育の担い手確保対策について

待機児童発生の要因の一つに、保育士不足がある。特に年度途中入所に対応するための保育士確保が喫緊の課題となっており、おおい子ども・子育て応援プラン(第3期計画)を達成し、安心・安全な保育環境を確保するため、保育の担い手確保策の充実を図る。

## 保育の担い手確保対策のイメージ



## 〇29年度の保育の担い手確保対策

### 保育士資格取得の支援

- ①保育士試験の年2回実施
- ②保育士・保育所支援センターの運営
  - ・県外養成校生の確保(実習情報の提供 等)
- ③県内養成校の県内就職率向上

### 保育士の就業継続支援

- ①保育士の処遇改善
  - ・平均給与(全職員)【新】+2.0%(月額6千円程度)
  - ・副主任保育士等【新】(経験年数概ね7年以上) 月額4万円
  - ・職務分野別リーダー【新】(経験年数概ね3年以上) 月額5千円
- ②離職防止対策
  - ・新任保育士離職防止セミナー
  - ・管理者向け研修

### 潜在保育士の再就職支援

- ①保育士・保育所支援センターの運営
  - ・ハローワークとの連携によるきめ細かな就職あっせん、相談支援
  - ・保育のしごと就職フェア開催
  - ・再就職支援体験実習
- ②再就職支援(就職準備金貸付)

### 保育士配置要件の弾力化

- ①保育士配置要件の弾力化(緊急的対応)
  - 加配保育士や朝夕の時間帯等において、「保育士資格を有しない一定の者」(子育て支援員研修を修了した者など)を活用可能となった。
- ◎子育て支援員研修
  - ※要件弾力化への対応(400人養成)

### 保育士養成施設の学生への就学支援

### 〇保育士就学資金貸付事業

- ・県外養成施設: 県内保育所等への就職(Uターン)促進
- ・県内養成施設: 県内保育所等での就職継続の確保(義務期間:5年)

# 【病児保育充実支援事業】

## 病児保育事業とは・・・

保護者が就労等で病気の子どもの自宅を看護できない場合、**病院や保育所等に設けた専用スペース**で病気の子どもの保育する事業



## 【おおいた子ども・子育て応援プランと現状】

	現況	目標 (H31まで)	現状－目標	H29年度施設整備 実施予定	H29年度整備後－目標
大分市	4	6	△ 2	2	0
別府市	1	1	0	0	0
中津市	1	1	0	0	0
日田市	1	3	△ 2	1	△ 1
佐伯市	1	1	0	0	0
臼杵市	1	1	0	1	0
津久見市	1	1	0	0	0
竹田市	1	1	0	0	0
豊後高田市	2	2	0	0	0
杵築市	2	2	0	0	0
宇佐市	1	2	△ 1	0	△ 1
豊後大野市	3	4	△ 1	1	0
由布市	1	2	△ 1	1	0
国東市	1	1	0	0	0
姫島村	0	0	0	0	0
日出町	1	1	0	0	0
九重町	1	1	0	0	0
玖珠町	1	1	0	0	0
合計	24	31	△ 7	6	△ 2

※施設整備実施予定：新設5施設、施設改修による定員増1施設(臼杵市)

## 大分市の現状について

H27年度2月の状況		
施設名	開所日数	定員超過日数
大分子ども病院キッズケアルーム	24	0
大分岡病院病児保育センターひまわり	24	2
西の台子どもデイケアルーム	24	20
天心堂病院保育センターつくしんぼ	24	8

H27年度の受入を断った件数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大分子ども病院キッズケアルーム	5	1	7	11	8	4	2	4	5	0	14	20	81
天心堂病院保育センターつくしんぼ	4	1	0	1	5	11	3	2	16	1	48	41	133

感染症流行時には保護者ニーズが高まるが、施設は対応に苦慮している

## おおいた子ども・子育て応援県民会議 (28/7/1)

- 一番困るのは病児保育。遅刻や早退で会社に迷惑をかけた。
- 子どもが病気の際に保護者が休むのは当然という考え方を広げて。
- 病児保育を利用せざるを得ない共働き世帯に対する多様な働き方の推進に力を入れてほしい。

## 【29年度 施設の新設・改修】

### 【大分市】

- かわのこどもクリニック（新設）  
植田地区周辺に初めての病児保育施設
- 谷村胃腸科小児科医院（新設）  
大在・坂ノ市地区周辺に初めての病児保育施設

<参考 H27 年間延べ利用児童数 >

キッズ・ケアルーム	1,592
大分岡病院病児保育センター「ひまわり」	1,032
西の台こどもデイケアルーム	2,429
天心堂乳幼児健康支援デザインサービスセンター「つくしんぼ」	1,489

### 【日田市】

- 日田中央病院（新設）  
※H30年度にも、大山地区に認定こども園を創設し、病後児保育を行う予定。

### 【臼杵市】

- とうぼ小児科医院（増設）  
年々利用児童数が増加していることから、定員3名増（6人→9人）

### 【豊後大野市】

- 豊後大野市民病院（新設）  
市内の既存3施設は全て三重町のため、緒方町に初めての病児保育施設。

### 【由布市】

- おざきケアホームクリニック（新設）  
由布市（庄内町）に初めての病児保育施設。

※宇佐市は、31年度までに1施設増を目指し、現在事業者を検討中。

# 男性の子育て参画の推進 (地域の子育てコミュニティづくり推進事業)

## 「ファザーリング全国フォーラム」の開催

「笑っている父親を増やす」ことをミッションに、父親が子育てしやすい環境整備をめざす「NPO法人ファザーリング・ジャパン」が、父親(男性)の育児・地域活動参画の推進等を目的に、自治体等とタイアップし全国各地で開催(平成23年度～)。

### <メインシンポジウム & 分科会形式で開催>

- イクボス ●WLB(働き方の見直し) ●男性の子育て参画 ●女性活躍推進
- 夫婦のパートナーシップ ●父親サークルの活性化 ●若者のライフデザイン 等

## 大会概要

- ◇主催 ファザーリング全国フォーラムinおおいた実行委員会 (NPO法人ファザーリング・ジャパン、大分県、大分市、おおいたパパくらぶ、おおいたおやじネットワーク)
- ◇開催日 平成29年6月16日(金)～17日(土)(※6月18日は父の日)
- ◇会場 ホルトホール大分
- ◇概要 開会式では県・経済5団体・労働局・大分市の代表がイクボス共同宣言を行い、分科会として、イクボスが進める男の働き方改革セミナーや、県内絵本作家と父親サークルによる男性の子育て座談会&絵本の読み聞かせライブなどを実施、メインシンポジウムで、ベストファーザー賞 ユージが語る家族愛・夫婦愛の講演とフリートークを行った。
- ◇参加者 開会式・イクボス共同宣言約300人、メインシンポジウム約200人等 延べ2,500人



## イクボスの推進

### ○イクボスとは

職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果も出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司のこと。

### ○イクボス共同宣言の実施

大分県、経済5団体、労働局、大分市による共同宣言を実施し、県内にイクボスの機運を醸成する。

### ○イクボス企業推進研修の実施

イクボス宣言で高まった機運を活用し、県内企業の管理職を対象にイクボス研修を実施し、男性の子育て参画を一層推進する。

## 期待される効果

全国フォーラムやイクボス宣言を起爆剤として…

「子育ても仕事もしやすい環境づくり」を促進

- ワーク・ライフ・バランスの推進
- 女性の活躍の推進
- 男性の育児参画の推進 など

「子育て満足度日本一」の実現!

